Ｒ４年度　研究構想図

学習指導要領　総則
（１）基礎・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達を考慮して、児童の言語活動など、学習基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること

尾久第六小学校　教育目標

〇心ゆたかな子

〇よく考える子

〇たくましい子

「荒川区学校教育ビジョン
学びの推進プラン」
（第２期　令和３年度～令和５年度）

＜重点推進目標２＞
主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善を推進する

→新学習指導要領の考え方を十分に取り入れ、話合いや書くこと、考える活動などの教育活動を行い、子どもたちに深い学びを実現させるよう取り組んでいく。

児童の実態

〇学習に真面目に取り組むことができる。
〇間違えを恐れずにやってみたり、自分の言葉で表現したりすることに苦手意識がある。

目指す児童像

〇自ら考え、思いや考えを伝え合うことができる児童
〇友達の意見を聞き、自分の考えをよりよくしていこうとする児童

研究主題

主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

研究内容	
自分の思いや考えをもたせるための工夫	学習のねらいを達成するための話合いの工夫
〇児童の興味、関心に合った話題（題材） ・児童が友達に伝えたいと思う話題や題材になっているか。 〇伝える視点の明確化 ・何について話すのか、視点を提示する。	〇話合いを入れた学習活動の展開 ・どの場面でいれるのか 〇話合いの形態の工夫 ・人数 ・時間　等 〇話合いを充実させるための教材・教具